

◆ 平成 20 年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中中部支部研究会は 12 月 1 日（月）および 2 日（火）の 2 日間にわたって、石川県金沢市内の金沢駅西合同庁舎において開催する予定です。既に講演の申し込みは締め切られていますが、講演の申し込み件数は 22 件に及び、平成 20 年 8 月末豪雨、エアロゾル、気候システムや大気海洋相互作用に関する研究など、いろいろな分野における講演が予定されています。会員の皆様には、講演要旨集もあわせて配布する予定ですが、研究会のプログラムを以下に添付いたしました。ご興味のある方は是非とも会場までお越しください。

◇ 平成 20 年度支部研究会概要

日時： 2008 年 12 月 1 日（月曜日）13:00 ～ 18:20（終了後、別会場で懇親会）

12 月 2 日（火曜日）09:00 ～ 12:00

場所：金沢駅西合同庁舎 6 階 共用会議室（金沢市西念 3 丁目 4 番 1 号）

交通案内：

会場となる金沢駅西合同庁舎へは JR 北陸本線金沢駅下車。金沢駅西口バスターミナルにて、6 番バス乗り場から県庁方面行きのバスに乗り、駅西合庁前にて下車してください。所要時間は約 5 分です。徒歩では金沢駅西口より約 20 分(1.6 Km)かかります。

会場案内図



(地図：金沢地方気象台のウェブページより、一部情報を付加した。)

◇ 講演プログラム

12月1日(月)

- 13:00 ~ 13:10 開会の辞 牧原康隆(中部支部長/名古屋地方気象台)
- 13:10 ~ 13:30 塩澤雅之*・轡田邦夫・小山 真(東海大学海洋学部)
「衛星散乱計による海上風・海面応力格子データの再構築と精度検証」[P]
- 13:30 ~ 13:50 須田 祥*・日原勉・岩崎慎介・久保田雅久(東海大学海洋学部)
「全球海面大気比湿データの解析」[P]
- 13:50 ~ 14:10 渡部 剛*・久保田雅久(東海大学海洋学部)
「全球降水フラックスデータの解析と比較検討」[P]
- 14:10 ~ 14:30 佐々木孝将*・木村紋野・横田川恵梨・土屋裕也・久保田雅久(東海大学海洋学部)
「海洋による南北熱輸送に関する研究」[P]
- 14:30 ~ 14:50 近藤淳也*・轡田邦夫(東海大学海洋学部)・永延幹男(遠洋水産研究所)
「南大洋上における海上気象変動特性および南極半島近海の上層海況変動への影響」[P]
- 14:50 ~ 15:05 休憩
- 15:05 ~ 15:25 市瀬和義*(富山大学人間発達科学部)・木下正博(富山県総合教育センター)
「富山湾における上位曇気楼」[P]
- 15:25 ~ 15:45 田辺久之*(元常葉学園大学)
「気象観測 30 年と地域気象教育」[P]
- 15:45 ~ 16:05 林 弘文*(元静岡大学)
「地球温暖化と大循環モデルについて」[OHP]
- 16:05 ~ 16:25 東海林孝幸*(豊橋技術科学大学エコロジー工学系)・Asep Sofyan(Dept. of Environmental Engineering, Institute of Technology, Bandung)・北田敏廣(豊橋技術科学大学エコロジー工学系)
「ジャカルタの都市拡大と気温上昇との関連性について -70 年代と現代との比較-」[P]
- 16:25 ~ 16:40 休憩
- 16:40 ~ 17:00 平松章男*(北陸先端科学技術大学院大学/日本気象予報士会)・HUYNH Van Nam・中森義輝(北陸先端科学技術大学院大学)
「季節予報の実践的利用に関する研究
-異常天候早期警戒情報を利用した在庫管理の意思決定について-」[P]
- 17:00 ~ 17:20 吉野 純*(岐阜大学工学研究科)・野村俊夫(滋賀県南部振興局)・安田孝志(岐阜大学工学研究科)
「岐阜大学局地気象予報システムの降水量予測精度向上に関する研究」[P]
- 17:20 ~ 17:40 渡辺真二*・坪井嘉宏・肆矢朗久(名古屋地方気象台)
「中部地方におけるメソ対流系の発生状況」[P]
- 17:40 ~ 18:00 肆矢朗久*・坪井嘉宏(名古屋地方気象台)
「2008年8月28日~29日に愛知県で発生した大雨について」[P]
- 18:00 ~ 18:20 篠田太郎*・坪木和久・加藤雅也・出世ゆかり・野村光春・瀨瀬丈晴・尾上万里子・大東忠保・上田博(名古屋大学地球水循環研究センター)
「マルチパラメータレーダと雲解像モデル CReSS を用いた平成 20 年 8 月末豪雨の初期解析結果」[P]
- 18:30 ~ 懇親会

12月2日(火)

09:00 ~ 09:20 草刈智一*・松崎丈泰(信州大学大学院)・鶴田圭佑・寒川典昭・
山崎基弘(信州大学工学部)

「降水パターングラフにみる降水形態の分析」[P]

09:20 ~ 09:40 五味千絵子*, 葛葉泰久, 福山薫(三重大学大学院生物資源学研究所)

「NCEP/NCAR 再解析データを用いた世界的な降水極値の傾向」[P]

09:40 ~ 10:00 東 佑次*・葛葉 泰久(三重大学大学院生物資源学研究所)

「尾鷲周辺の降雨に与える地形の効果について」[P]

10:00 ~ 10:20 皆巳幸也*(石川県立大学生物資源環境学部)・財前祐二・高橋 宙・
岡田菊夫・酒井 哲(気象研究所)

「能登半島における降水化学に対する黄砂の影響」[P]

10:20 ~ 10:35 休憩

10:35 ~ 10:55 當房豊*(金沢大学)・張代洲・山田丸(熊本県立大学)・中田直伸・
岩坂泰信(金沢大学)

「海洋大気中における鉱物粒子上での塩化物の形成について」[P]

10:55 ~ 11:15 市川裕樹*(名古屋大学環境学研究所)、増永浩彦(名古屋大学地球水
循環研究センター)、神沢 博(名古屋大学環境学研究所)

「北半球夏季インド洋における巻雲増加について」[P]

11:15 ~ 11:35 酒井久美*(富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一(富山大学大学院
理工学研究部)

「日本の暖冬・寒冬に関わる ENSO と NAO の複合的影響」[P]

11:35 ~ 11:55 立花義裕*(三重大学大学院生物資源学研究所)・高野陽平(コロラド州
立大学)・岩本勉之(防災科学技術研究所)

「日本海側の豪雪の長期変動と、Siberian-Japan pattern、日本海 SST との関連」[P]

11:55 ~ 12:00 講評 中村健治(気象学会理事/名古屋大学)
閉会の辞

講演は*が付けられた方により行われる予定です。各講演のタイトルの後に付けられている
[P]は PC プロジェクタによる講演を、[OHP]はオーバヘッドプロジェクタによる講演を表します。
今回の支部研究会では、講演1件あたりの時間は20分を予定しております。各講演者の方は講演
時間15分、質疑時間5分を目安とした講演をお願いいたします。

支部研究会についてのお問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学地球水循環研究センター

藤波初木

hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp

電話：052-789-3474

FAX：052-789-3436

◇懇親会のお知らせ

12月1日の支部研究会の終了後に懇親会を予定しております。是非ご参加いただき、参加者の皆様との交流を深めていただければと思います。

場所：サンボアン(石川県金沢市西念2-1-9：会場案内図の丸印箇所)

日時：12月1日(月) 18:30～2時間程度(研究会終了後、会場まで移動します)

会費：3000円程度(学生は2000円程度)

会場準備の都合上、お手数ですが懇親会の参加・不参加をe-mailにて名古屋大学地球水循環研究センターの藤波(hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp)までお知らせください。下記の内容をご記入いただき、FAXにて返信いただいても結構です(052-789-3436)。お忙しいところ恐縮ですが、11月20日(木)までに返事をお願いいたします。

.....
氏名：

懇親会に参加 (する ・ しない)

参加人数: 名
.....